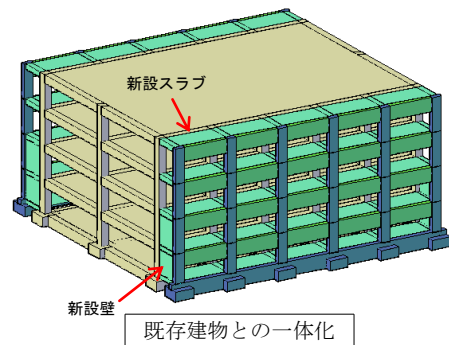
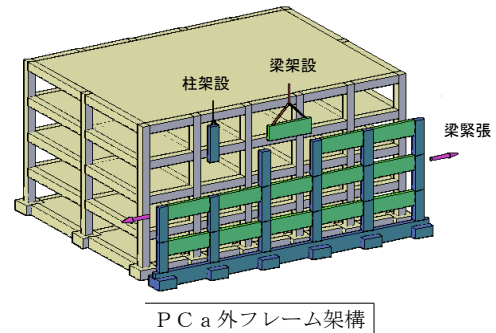


<p>【技術の名称】 ORS 外フレーム工法 -PCa フレームによる外付け耐震補強工法- (改定)</p>	<p>性能証明番号 : GBRC 性能証明 第08-21号 改 性能証明発効日 : 2012年10月16日</p> <p>【取得者】 オリエンタル白石株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、既存鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造骨組の外側に、プレキャスト・プレストレスト鉄筋コンクリート造骨組（以下、PCa 外フレームと呼ぶ）を接合する耐震補強工法である。本工法による既存骨組と PCa 外フレームとの接合は、あと施工アンカー接合または PC 鋼棒を用いた圧着接合によって行うことにしている。

本工法設計マニュアルは、1)耐震補強設計に採用する既存コンクリートの圧縮強度は 13.5N/mm^2 以上とする、2)せん断耐力を期待するあと施工アンカー(D19 以下)の既存部材への有効埋め込み深さは $10d_a$ 以上とする、3)PCa 部材と既存部材との圧着接合面および PCa 部材同士の圧着接合面の摩擦係数は0.6とする、の3点を除き、日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート構造物の外側耐震改修マニュアル」に従うことを基本としている。da はアンカー筋の直径を示す。本工法設計マニュアルで定めた既存部材との接合部に関する構造規定の妥当性は、本工法開発実験に基づいて確認している。



【改定の内容】

新規 : GBRC 性能証明 第08-21号 (2009年3月3日)
 改定 : GBRC 性能証明 第08-21号 改 (今回)

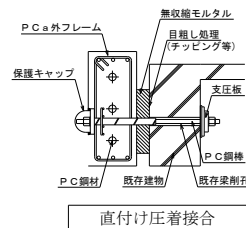
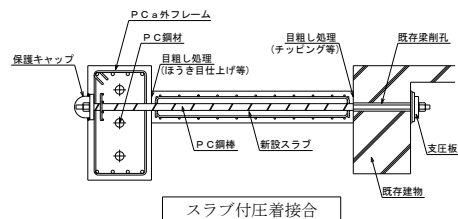
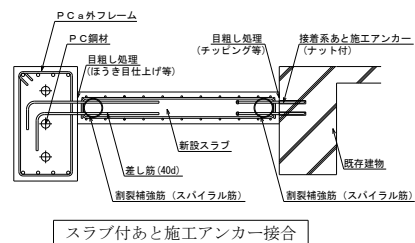
- ・ 申込代表者名の変更
- ・ コンクリートの曲げ引張強度およびせん断強度を「2009年版プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例」に合わせる変更
- ・ RC 柱部材に高強度せん断補強筋を使用することができる変更

【技術開発の趣旨】

近年、建物を使いながら、屋外から施工できる耐震補強工法が望まれており、本工法は、このような外付け耐震補強工法によっても、既存コンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm^2 以上の建物に適用できるようにすることを意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

申込者が提案する ORS 外フレーム工法「設計マニュアル」、「プレキャスト部材製造マニュアル」、「施工マニュアル」に従って設計・製造・施工した PCa 外フレーム部材と既存部材との接合部は、同設計マニュアルで提示している終局耐力を有すると判断される。



【本技術の問合せ先】

オリエンタル白石株式会社 東京支店 担当者 : 太田 和彦 E-mail : kazuhiko.oota@orsc.co.jp

〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-6-52 (NBF 豊洲チャンネルフロント) TEL : 03-6220-0649 FAX : 03-6220-0647